



2026年6月24日

各位

会社名 株式会社セイワホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野見山 勇大
(コード番号：523A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役副社長 井川 径成
(TEL：052-265-8467)

株式会社大庭塗装工業所の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、本日開催の取締役会において、株式会社大庭塗装工業所の株式を取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式の取得の理由

当社グループは、「たたむにはもったいない中小企業を受け継ぎ、選ばれ続けるモノづくりグループをつくる」ことを理念に掲げ、後継者不在等の課題を抱える中小製造業の事業承継（M&A）を連続的に行うとともに、独自の「セイワプラットフォーム」を通じた経営支援によりグループ各社の企業価値向上（バリューアップ）に取り組む、製造業特化型の事業承継プラットフォームであります。当社グループの主要事業の一つは金属製品の表面処理であり、カチオン電着塗装や電気めっきを主体として、半導体製造装置・自動車・工作機械等の幅広い分野に製品を供給しております。

このたび株式を取得する株式会社大庭塗装工業所（以下「大庭塗装工業所」といいます。）は、静岡県を拠点とし、カチオン電着塗装をはじめ、静電塗装、粉体塗装、耐熱塗装等の多様な塗装技術を自社内で一貫して手掛ける金属製品塗装・組立の専門メーカーであります。同社は、四輪・二輪・家電・汎用部品向けの安定した顧客基盤を有する一方、後継者不在という課題を抱えており、当社グループの事業承継プラットフォームのもとで、その技術と雇用を承継し、事業の継続と更なる発展を図ってまいります。

当社は、大庭塗装工業所の株式を取得することにより、主として以下のシナジーが見込まれるものと判断いたしました。

第一に、カチオン電着塗装は電気めっきと同じく電気を利用する表面処理技術であり、品質管理や生産管理などに共通点が多くあります。同社をグループ化することで、両事業間で改善ノウハウを共有し、技術力・収益力の向上を図ることができます。

第二に、鉄を犠牲防食により保護する電気亜鉛めっきと、水や酸素を遮断するカチオン塗装とを組み合わせることで二重の防錆構造を実現でき、自動車部品分野等において防錆性能の向上が期待されるほか、めっきからカチオン電着塗装までを一括して受託できる体制を構築することで、顧客の一括発注ニーズの取り込みも可能となります。

第三に、カチオン電着塗装をはじめとする塗料・資材等について、グループの共同購買によるボリュームディスカウントの余地があり、仕入コストの低減を通じた収益性の改善が期待されます。

第四に、当社グループにおいて、関東にはカチオン電着塗装を行っている工場が3拠点、中部には電気めっきを行っている工場が4拠点あります。両地域の間際に位置する大庭塗装工業所がグループに加わることで、関東と中部をまたいだ対応が行いやすくなり、営業エリアの拡大が期待できます。また、ユーザーに最も近い工場での加工が可能となるため、輸送距離が短縮され、物流コストの削減につながります。特に現在は、中部圏のカチオン電着塗装案件を関東の工場に対応しているため、大庭塗装工業所の活用によって輸送コストを大

大きく削減できる見込みです。

以上を踏まえ、当社は、大庭塗装工業所の株式を取得し子会社化することが、当社グループ及び同社の企業価値の向上に資するものと判断し、このたび同社の株式を取得することといたしました。

2. 異動する子会社（株式会社大庭塗装工業所）の概要

(1) 名 称	株式会社大庭塗装工業所			
(2) 所 在 地	静岡県浜松市中央区中島3-12-14			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 大庭 良一			
(4) 事 業 内 容	金属製品塗装・組立（カチオン電着塗装、静電塗装、粉体塗装、耐熱塗装等）			
(5) 資 本 金	12百万円			
(6) 設 立 年 月 日	1958年8月			
(7) 大株主及び持株比率	個人株主6名：100.0%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2023年7月期	2024年7月期	2025年7月期
	純 資 産	1,500百万円	1,519百万円	1,617百万円
	総 資 産	1,650百万円	1,560百万円	1,706百万円
	1株当たり純資産	102.2千円	103.5千円	110.2千円
	売 上 高	950百万円	468百万円	616百万円
	営 業 利 益	350百万円	△3百万円	114百万円
	経 常 利 益	362百万円	25百万円	137百万円
	当 期 純 利 益	245百万円	19百万円	97百万円
	1株当たり当期純利益	16.7千円	1.3千円	6.7千円
	1株当たり配当金	—	—	—

(注) 上記経営成績及び財政状態については、監査法人による監査を受けておりません。

3. 株式取得の相手先の概要

株式取得の相手先は個人株主6名となりますが、相手先の意向及び当事者間の守秘義務契約により、氏名等は非公開とさせていただきます。なお、当社と株式取得の相手先との間に記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0.0%)
(2) 取 得 株 式 数	14,680株 (議決権の数：14,680個)
(3) 異動後の所有株式数	14,680株 (議決権の数：14,680個) (議決権所有割合：100.0%)

(注) 大庭塗装工業所の発行済株式総数は24,000株（うち自己株式9,320株）であり、当社は議決権を有する全株式（14,680株）を取得する予定であります。

取得価額につきましては、当社の直前事業年度の末日における連結純資産額の 15%を上回る金額ではありますが、相手先の意向及び当事者間の守秘義務契約に基づき、非開示とさせていただきます。なお、取得価額につきましては、外部の専門家による株式価値評価及び法務・財務に関する調査の結果等を合理的に勘案の上、当事者間の協議を経て、決定しております。

5. 日 程

(1) 取締役会決議日	2026年6月24日
(2) 契約締結日	2026年6月30日
(3) 株式譲渡実行日	2026年6月30日(予定)

6. 今後の見通し

本件が当社の 2027 年 5 月期の連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であります。今後、業績予想の修正等の開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上

株式会社セイワホールディングス

大庭塗装工業所の株式の譲受に 関する補足資料

証券コード：523A（東証グロース市場）

大庭塗装工業所の概要

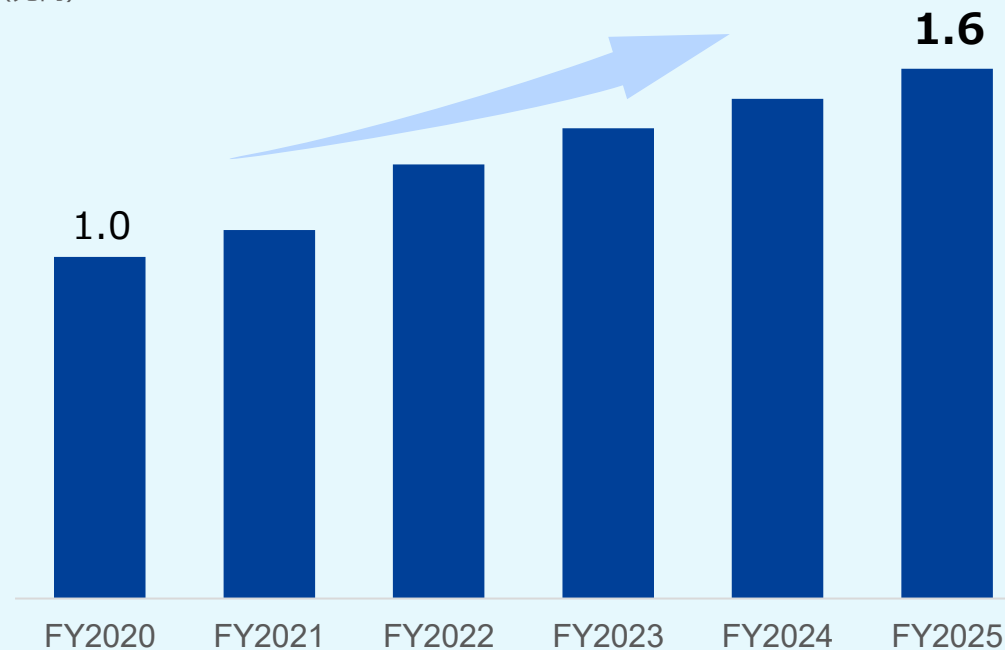
エアコン等の家電部品や四輪・二輪の部品等の塗装・組付事業を展開する大庭塗装工業所を譲受



会社名	株式会社大庭塗装工業所
設立	1958年8月
資本金	1,200万円
本社	静岡県浜松市中央区中島3-12-14
工場	静岡県袋井市上山梨173-1
従業員数	64名（2025年7月末現在）
事業内容	金属製品塗装・組立（カチオン電着塗装、静電塗装、粉体塗装、耐熱塗装等）
製造対象製品	エアコン等の家電部品や、二輪・四輪自動車の部品

三菱電機(株)空調・家電セグメントの売上高推移

(兆円)

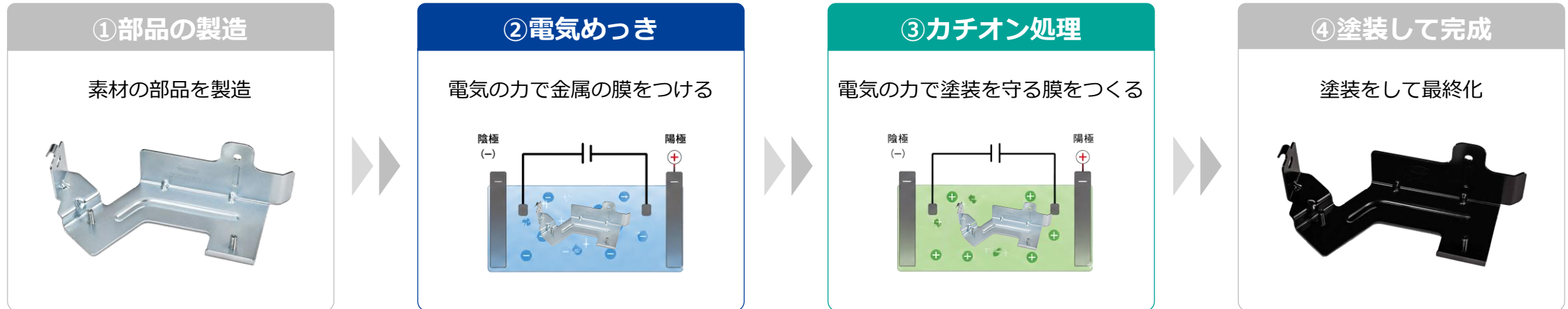


出典：三菱電機(株)の決算説明資料におけるセグメント情報

技術面で期待されるシナジー

当社グループが有する電気めっきの技術と、大庭塗装工業所が有するカチオン電着塗装の技術を組み合わせることで、より高品質で長持ちする製品を製造することが可能に

例：自動車駆動部のカバー金具の製造



電気めっきとは

金属の膜をつくる技術

- 外観の見栄えが向上
- 耐食性が向上
- 耐摩耗性が向上



これらをセットで行うことで
品質・耐久性が大きく向上

カチオン処理とは

塗装を守る膜をつくる技術

- 塗装の密着性が向上
- さびにくさが向上
- 長期的な耐久性が向上

地理的観点で期待されるシナジー

関東地域に、カチオン電着塗装ができる工場が3拠点、中部地域に、電気めっき加工ができる工場が4拠点存在。

今回譲受する大庭塗装工業所は、この中間地点に位置し、**関東と中部をまたいだ対応**が行いやすくなり、**営業エリアの拡大**が期待される。

